



# CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 鈴木 正人  
幹事 嵐 繁雄  
SAA 後藤 泰治  
会報小委員長 今泉 敏徳

○例会日 毎週水曜日(12:30～13:30) ○事務所 いわき市植田町中央一丁目6番地の9  
○例会場 ホテルミドリ 〒974-8261 ホテルミドリ内  
TEL0246-62-3737

第 2750 回 例会 平成 30 年 10 月 3 日(水・晴)

2018 - 19 年国際ロータリーのテーマ  
インスピレーションになろう

ゲスト  
外部卓話  
いわき市勿来消防署 主幹兼副署長  
消防司令長 水野 浩様  
米山奨学生 朴相俊(パク・サンジュン)さん

## ◎会長報告—鈴木正人会長

皆さん、こんにちは。大型で非常に強い台風 24 号の影響で 9 月 30 日の「観月家族例会」は中止となりました。観月家族例会を楽しみにしていた会員の方には残念な結果となりました。無理して敢行することも考えましたが、安全を第一に中止決定を致しました。先々週の 9 月 19 日のガバナー公式訪問に於きましては、会長幹事懇談会、クラブ協議会、そして通常例会と各クラブ委員長、会員の皆様には大変お世話になりました、滞り無く無事終了致しました。本当に有難う御座いました。10 月 1 日には京都大学の本庶 佑(ホンジョ タスク)特別教授が「ノーベル医学生理学賞」を授与されるといううれしいニュースがありました。本日はゲストにいわき市勿来消防署 主幹兼副署長 消防指令長であられます水野浩様をお招きしています。後程プログラム委員長から改めて紹介いたします。そして卓話をお願い致します。

米山奨学生の朴相俊(パク・サンジュン)君が見えています。後ほど奨学金をお渡しいたします。会長報告は以上です。

## ◎米山奨学生 朴相俊(パク・サンジュン)さんへ奨学金贈呈

米山奨学生朴相俊さんへ米山奨学金を鈴木会長より贈呈いたしますので前の方へどうぞ。



## 君が代

ロータリーの目的 鈴木 正人会長  
—今月は経済と地域社会の発展/米山月間です—

## ◎幹事報告—嵐 繁雄幹事

・ロータリー米山奨学会より奨学生レポートが届いています。  
・国際ロータリーガバナー事務所より第 1 回ふくしま植樹祭への参加について文書が届いています。同じくガバナー事務所より「青少年会議」開催のお知らせが届いています。また、カウンセラー研修会開催のお知らせ、インターアクトクラブ連絡協議会・顧問教師会開催のお知らせもガバナー事務所より届いております。  
・日本モンゴル友好ハッピー協会よりモンゴル芸能チャリティーコンサート 2018 第 4 回実行委員会開催のご案内が届いております。  
・2017 - 18 年度ガバナー事務所より 2017 - 18 地区決算報告書が届いております。  
・いわき市より第 44 回いわき市総合社会福祉大会の開催について案内が届いています。  
・いわき桜ロータリークラブより 10 月のプログラム、いわき平ロータリークラブから 10 月のプログラムと週報、いわき平東ロータリークラブより 10 月プログラムが届いております。以上の案内は全て閲覧中です。  
・エコキャップはロータリーで回収を行わなくなりましたので当クラブで集めたエコキャップは法人会へ届けて役立てていただく事にしました。

## ◎各委員会報告

### ◇出席委員会

—吉野彰芳副委員長

本日の出席状況は下記の通りです。



## ◇スマイルボックス委員会—富岡幸広委員



・いわき市勿来消防署主幹兼副署長 消防司令長水野浩様を歓迎して。富岡、後藤、高萩、畠山、富澤、生駒、細田、清水、佐藤(政)、岩元、荒川(義)、飯村、小澤、荒川清、渡邊(公)、赤津(和)、影山、蛭田、赤津(善)、菅野、渡邊(貴)、根本、大平、川口各会員及び鈴木会長、越田和副会長、嵐幹事、星副幹事

・誕生祝ありがとうございました。

山下、吉野、岩本、木村、丹野各会員・本日早退ごめんなさい。鈴木(修)、斉藤各会員・前回休んでごめんなさい。

田子、川口各会員及び越田和副会長

## ◇親睦活動委員会—荒川清副委員長

本日は親睦活動委員会より誕生祝を差し上げたいと思います。名前を呼びますので前の方へどうぞ。丹野会員、山下会員、木村会員、吉野会員、岩本博会員おめでとうございます。



## ◇職業奉仕委員会—斉藤隆委員長

来週 10 月 10 日の例会は職場例会です。例会は通常通りミドリで行い 12 時 50 分に移動します。場所は赤津和三会員の会社で株式会社シンテック様です。13 時から工場説明、見学を予定していますので各自の車で乗りあいで速やかに移動して下さい。よろしくお祈りします。

## ◎ゲスト卓話



いわき市勿来消防署

主幹兼副署長 水野 浩様

皆さん、こんにちは。只今、ご紹介いただきましたいわき市勿来消防署の水野でございます。日頃は消防行政にご理解いただき、誠にありがとうございます。本日は、根本通商の根本克頼さんに是非お願いしますと頼まれましたので、いわき市勿来ロータリークラブの皆様の前でお話しさせていただきますことになりました。事前に根本さんから高齢の方が多くとお話しを伺っていましたので、本日は救急の話ということで、「予防救急と救急車適正利用」についてお話しさせていただきます。まず、この中で救急車に乗ったことがある人はどの位いますか。だいたいおおよそですね。普通はこの位の人数であれば 2~3 人程度なんですけど、皆さん大分ご利用になっていますね。早速ですが、スライドをご覧ください。これはいわき市の救急活動の推移のクラブです。年間 13 千件程度で推移し、1 日当たりにすると 37 回ほど出動しています。次に、平成 29 年度のいわき市の救急車の搬送人数の内訳です。この

中で、中等症とは生命の危険はないが入院を要するものとなっております。症状別で見ると重症が全体の 14%で中等症・軽症の割合が 83%と圧倒的に多くなっております。また、要因別に見ると急病が全体の 65%、次に負傷が約 20%で以下その他の内訳となっております。いわき市民の 29 人に 1 人を搬送していることになり、搬送人員の約 60%が高齢者、約 42%が軽症となっているのが現状です。次に年齢別救急搬送状況ですが、0~1.2 歳児の時が高く、6 歳前後が一番低く、その後年齢を重ねるとともに徐々に多くなり、81~86 歳がピークとなります。このピークは丁度日本人の男女の平均寿命と同じくっており、その後は死んでいくので減っています。また、小児ほど軽症で、高齢者ほど重症・中等症での救急車の利用割合が高くなっている傾向にあります。皆さん、何故 0~1.2 歳児の利用が高くなっているかわかりますか。これは小さい子供の発熱であり、その後呼吸困難な状況になることが多く、多くのお母さん方が気が動転し焦ってしまい、どこの病院に連れて行っていいかわからなくなり、救急車を呼んでしまうからです。次に高齢者の急病の内訳ですが、軽症の場合、一化過性の意識障害・めまい等が多く、重症の場合は、心不全・脳卒中の割合が高くなっております。また、65 歳以上の怪我で見ると軽症は打撲が 40%となっており、重症の場合は、頭部外傷・骨折の順となっております。次によくある骨折・ヒートショック・誤嚥についてお話しいたします。転倒・転落の予防としては、まずは、室内の段差をなくし整理する。階段や廊下、浴室に手すりを付ける。階段に滑り止めを付ける。靴下は滑りにくいものを履く等が挙げられます。また、ヒートショックはこれから夜間に気温が低くなる 10 月から 3 月に多く発生しています。暖房のきいた部屋から寒い浴室、トイレに入った時や熱いお風呂に入った時にわかし起こっています。温度差により血圧が上昇または下降して発生します。これらの要因により、脳卒中・心臓発作・心筋梗塞を発症したりしますので、その際は迅速な 119 番をお願いします。発症から早い段階で医療処置ができれば、完全な回復が期待できるからです。次に誤嚥の予防ですが、食べ物は細かく調理し、少しずつゆっくりよく噛んで食べるようにしましょう。

最後になりますが、救急車の正しい利用についてお話しさせていただきます。皆さん、救急車は、生命が危険。著しく悪化するおそれがある。緊急に搬送する必要がある。迅速に搬送する手段が無い場合にお使い下さい。決して、症状が軽く、交通手段が無い場合は、民間の患者搬送事業者またはタクシーを。どこの病院がよいか分からない場合は、消防本部・消防署に問い合わせ下さい。定期的な通院はくれぐれも救急車をお呼びすることなく、タクシーをお願い致します。もし迷ったら、119 番して下さい。以上

出席状況	正会員数	56 名	カード出席	2 名
	本日出席会員数	41 名	本日の修正出席率	81.13%